

安城東オンライン☆

~Anjo Higashi S.H.S.
Interactive Online Education~

特別号

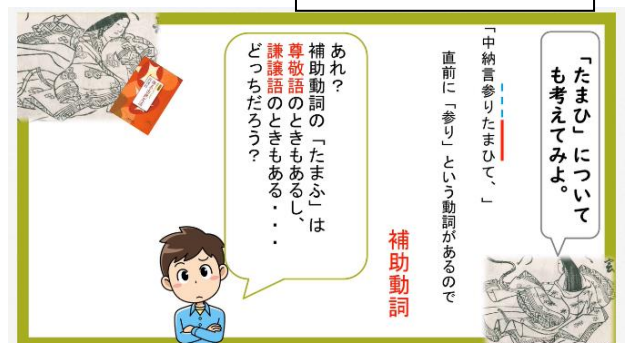
今回のコロナウイルスの影響をきっかけとして、安城東高校では ICT の積極的な活用など新しい学びのシステム構築に取り組んでいます。今まで培った安城東高校のノウハウに新たな技術やシステムを融合させ、新たな学びを実現します。各家庭ではスマホやパソコンなどの端末や通信環境の準備をしたり、さまざまなアプリを入れていただき、ありがとうございました。情報機器は難しいと感じている生徒・保護者の方もいらっしゃると思いますので、この3か月間に導入したアプリとその内容をまとめましたので、ご覧ください。

Zoom (ズーム) : 主に休校中の**生徒面談**(集団・個人)で利用しました。教員間で研修を行い、**会議**や業者との**打ち合わせ**で活用しました。現在は、三密を避けるために、**各種説明会**(奨学金説明会・学年懇談会等)などでも利用しています。



Classi (クラッシー) : 生徒とつながりをもつための連絡用として主に使用しました。休校中は、**健康調査**や**学習時間調査**など、アンケート調査を多く実施しました。また、課題を配信したり、**教員作成の授業動画**を配信したりして classi 内で視聴できるようになっています。(Youtube は利用していません。) 学校再開後も家庭学習を助ける動画・音声など配信をしています。また、生徒への連絡(**部活動連絡**・**学習時間調査**)や校内連絡など、今後も継続して利用していきます。

教員作成の動画教材



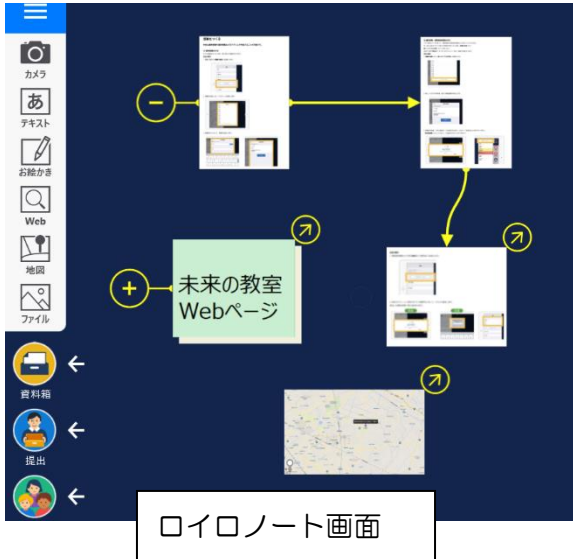


スタディサプリ：県内一斉に今年度限定で導入された**動画視聴**ができるアプリです。受験対策用動画など数多くの動画があります。2,3年生は学校で登録作業を行い、**自宅で視聴**できるようにしました。主に**自習用**として利用します。

ロイロノート：教師と生徒間の**課題のやりとり**を可能にするアプリです。Classi より簡単で多機能です。教師からの課題に対して、文字カードや手書きノートを写真撮影したもの、**音声**（英語の発音など）を入れたものなどを送り返すことができます。自宅からできるため、再度休校になってしまった場合でも**授業課題の対応**ができるようになります。



校内では、全員の回答を大画面に表示したり、グループで意見をまとめたりする使い方ができます。教育活動の充実に向けて、今後各教科で授業研究を進めていく予定です。



昨年度のマルチメディア教室に続き、**第2マルチメディア教室**が完成しました。今後、タブレット端末とモバイルルーターが配備される予定になっています。ICT を活用した教育活動によって、**個々に応じた学習支援**を行っていきます。



第1マルチメディア教室



第2マルチメディア教室